

みずほCustomer Desk Report 2017/11/07 号(As of 2017/11/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.18	1.1615	132.62	1.0003	1.3080	0.7652
SYD-NY High	114.73	1.1623	133.12	1.0029	1.3175	0.7693
SYD-NY Low	113.70	1.1580	132.00	0.9974	1.3059	0.7639
NY 5:00 PM	113.70	1.1610	132.00	0.9974	1.3173	0.7692
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	6.95/7.325		△25RR	0.515	Yen Call Over	

NY DOW	23,548.42	9.23	債券市場	日本2年債	-0.1790	▲1.8bp
NASDAQ	6,786.44	22.00		日本10年債	0.0240	▲3.1bp
S&P	2,591.13	3.29		米国2年債	1.6207	0.6bp
日経平均	22,548.35	9.23		米国5年債	1.9834	▲0.7bp
TOPIX	1,792.66	▲1.42		米国10年債	2.3163	▲1.6bp
シカゴ日経先物	22,595.00	▲30.00		独10年債	0.3360	▲2.8bp
ロンドンFT	7,562.28	1.93		英10年債	1.2560	▲0.6bp
DAX	13,468.79	▲10.07		豪10年債	2.5700	▲0.2bp
ハンセン指数	28,596.80	▲6.81		USD/CNH	6.6251	▲0.0114
上海総合	3,388.17	16.43		ドルインデックス	94.71	▲0.23
USDJPY 3M Vol	7.92	▲0.04%	為替市況	CRB指数	192.568	3.19
USDJPY 6M Vol	8.63	0.04%		NY金	1,281.60	12.40
EURJPY 3M Vol	7.28	▲0.05%		WTI	57.35	1.71
EURJPY 6M Vol	8.47	▲0.02%		Dubai Spot	60.40	1.33
			商品市況			

東京	東京時間のドル円は114.18レベルでオープン。来日中のトランプ米大統領より「米国は日本のせいで“長い年月に渡って”巨額の貿易赤字に苦しんできた」などのコメントや、同タイミングで黒田日銀総裁の発言などが報じられたものの、特段マーケットの反応は見られず。むしろ、先週金曜日に米株が史上最高値を更新した株高の流れを引き継ぎ、日経平均株価が高寄り後も堅調推移する動きを横目に、ドル円も上値を試す展開。こもとシスラスとして意識されてきた114.45を上抜けると、ストップオーダーを巻き込みつつ一時東京時間高値となる114.73まで急伸した。しかし、買い一巡後は急速に売り戻しが入り、再び114円台前半まで反落。午後に入り、日経平均株価が上げ幅を徐々に縮小したことなどを背景に、ドル円は114.30近辺で揉み合い推移が続いた。東京時間引けにかけて、安倍・トランプ両氏による共同会見が始まるも特段目新しい内容はなく、114.30レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は動意薄、114.30レベルでオープン。米金利の低下に伴い113.95まで下落。しかし、その後は材料難から114円台前半で小動きとなり114.12レベルでニューヨークへ渡った。ロンドンでは1.3070レベルでオープン。全般的なドル売りや「メイ英首相は英国がEU離脱に伴い支払う“制裁金”を530億ポンドとしEU側に提示する」との一部噂にEU側との離脱交渉がスムーズに進むとの憶測から高値となる1.3127を付けた。午後には主な米指標の発表もないため次第に様子見ムードとなり、1.3110レベルでニューヨークへ渡った(ロンドン・ローリー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は114.12レベルでオープン。朝方は114.10付近での狭いレンジ推移が続いたが、その後は米金利低下を横目に114円を割り込んだ。正午に行われたダトリー・NY連銀総裁の講演では米経済、金融政策に関する発言はなく、また週末に報道された早期退任に関するコメントもなかった。目新しい材料に欠ける中、ドル円はじり安の展開となり安値となる113.70まで下落し、113.70レベルでクロスした。なお、米下院歳入委員会は本日から税制改革に関する審議を開始しており、プレッシャー委員長のcarried interestへの税制処置を変更する可能性があることに言及したほか、引き続き他の部分も修正余地があることを示唆した。また、上院案については9日に発表される見込み。一方、ユーロは1.1591レベルでNYオープン。朝方は海外時間の上値重い推移を引き継ぎ、安値となる1.1580まで下落。しかし、米金利低下を受けてドル売りが強まると1.1616まで上昇。その後は1.1610付近での推移が続き、1.1610レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月6日	8:50	日銀議事要旨(9/20-21開催分)	-	-
	10:00	黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	16:00	製造業受注(前月比/前年比)	9月 1.0%/9.5%	-1.1%/7.1%
	17:55	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月 54.7/56.6	55.2/56.9
	18:00	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月 55.0/56.0	54.9/55.9
	19:00	PPI(前月比/前年比)	9月 0.6%/2.9%	0.4%/2.7%
11月7日	2:10	ダトリー・ニューヨーク連銀総裁 インタビュー	-	-

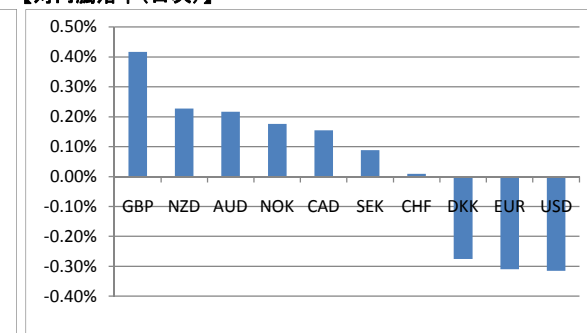
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月7日	12:30	豪 RBA理事会 政策金利発表	- 1.50%	1.50%
	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 -0.9%/4.5%	2.6%/4.7%
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	9月 0.6%/2.8%	-0.5%/1.2%
11月8日	2:35	米 クォールズ次期FRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.60-114.50	1.1570-1.1650	131.60-132.60

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な値動きとなった。アジア時間に114.73まで上昇したことから、一旦は利食い売りが優勢となったことに加え、欧州時間から米金利が低下したことも後押しし、欧州時間は114.00-114.20のレベルまで下落。米国時間でも米金利の低下圧力は継続し、また米下院での税制改革法案の審議が難航するのではとの懸念が浮上し、113.70-113.80近辺まで下落する展開となった。その他、ウィリアムズ米サンフランシスコ連銀総裁が「FOMCは12月に利上げすべきだ」と発言したが、12月利上げについては既に市場に織り込まれており、ドル円の反応は限定的であった。本日は特段のイベントは予定されていないが、パウエル新FRB議長就任によって引き続き堅調に推移している株価が、どこまでドル円のサポート要因となるかが注目であろう。